



## 2020年 3月号 「うるわしき 心のふるさと」

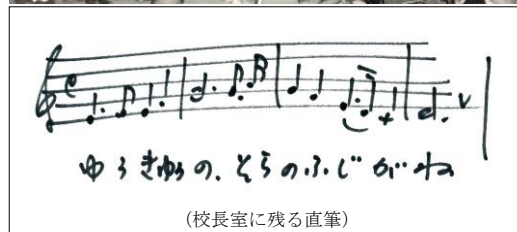


皆さんは、本校校歌の作曲家、故・古関裕而さんについて知っていますか？4月から放送されるNHK連続テレビ小説「エール」の主人公としてその生涯が描かれることになっていますので、主演が人気俳優・窪田正孝さんだということで楽しみにしている人もいるかもしれません。古関さんは、戦前、多くの軍歌を作曲していますが、戦後も『応援歌の神様／激動の昭和を音楽で勇気づけた男』として数多くのヒット曲を生み出しています。

今、ドラマ化されたり様々な本が出版されたりして改めて注目されている理由は、前回1964年に開催された東京オリンピック行進曲「オリンピック・マーチ」の作曲者であるということや、古関さんが福島県出身であることなどが言われています。その他にも代表的な曲を挙げると、1964年に開催された東京オリンピック行進曲「オリンピック・マーチ」をはじめ、全国高等学校野球選手権大会歌「栄冠は君に輝く」、阪神タイガースの応援歌「阪神タイガースの歌（六甲おろし）」、読売ジャイアンツの球団歌「巨人軍の歌」、早稲田大学応援歌「紺碧の空」、慶応義塾大学応援歌「我ぞ覇者」など皆さんもよく知っている曲がたく

さんあります。縁あって、初代学園長・牧野賢一先生の依頼で、開校当時、本校の校歌も作曲して下さっていました。詩人・村野四郎の歌詞にあのメロディーが吹き込まれ、校旗とともに初めてお披露目されたのは、開校翌年の昭和42年4月8日のことです。(写真は発表会の様子)

連続テレビ小説「エール」では、古関さんと妻の金子さんの生涯が描かれます(小説は近日刊行予定)。どんな作品になるか楽しみです。『復興五輪』という表現には賛否あるようですが、福島出身の古関さんの姿を通して、一人でも多くの人が励まされることを期待しています。



(校長室に残る直筆)

- 『古関裕而 応援歌の神様／激動の昭和を音楽で勇気づけた男』長尾剛／著 762.1
- 『君はるか／古関裕而と金子の恋』古関 正裕／著 913.6
- 『古関裕而／流行作曲家と激動の昭和』刑部芳則／著 767.8



## 2020年4月(卯月)開館日

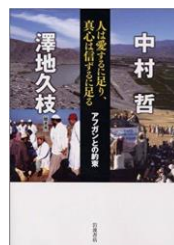
月	火	水	木	金
		1	2	3
6	7 始業式・入学式	8 A	9 B	10 B
13 B	14 B	15 B	16 B	17 B
20 B	21 B	22 B	23 B	24 B
27 B	28 B	29 昭和の日	30 B	

### ☆2月の図書館利用状況(2/1~2/29)

- ・本の貸出総冊数… 298冊
- ・自習室利用状況… 285人

### ☆今月のおすすめの本

#### 『人は愛するに足り、真心は信ずるに足る』



中村哲・澤地久枝／著 NDC333.827

医療援助の為にアフガニスタンに行った医師中村哲さんは、2019年12月、水路の建設現場に向かう途中、銃撃を受けて亡くなりました。アフガニスタンで医療活動を行いながら、病気を治すには、水をひいて、生活を再建すべきだと気づき、約35年の間水路の整備事業に従事し、約60万人の命を救ったと言われています。戦争や干ばつという厳しい環境にいる現地の人たちと密接に触れ合い、多くのボランティアと生活をともにすることで、本当に必要な援助とは何か、平和とは何かを訴えてきた中村さん。水路は未完成です。中村さんの意思に多くの人が共感し、その活動が永く受け継がれていくことを願って読んでほしい1冊です。

◎開館時間：昼休み／放課後 A：放課時～16：30  
B：放課時～18：30